

箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
箕面ユネスコ協会事務局
〒562-0013 箕面市坊島 4-5-20
みのおキューズモール2Fみのお市民活動
センター内 箕面ユネスコ協会(メールボックス)
E-mail sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp



- ◆ 目次 ◆
- 活動報告
- お知らせ

♪ ホームページ折々に更新中!
「箕面ユネスコ協会」
で検索してください♡

講演会 & 気仙沼の食材とお酒を楽しむ会

2020年2月8日(土曜日)「3.11を忘れない」【講演会】【食を楽しむ会】らいとびあ21

■ 第1部 ユネスコ講演会 (パネルディスカッション) 3.11を原点とする倉敷市真備町ボランティア

コーディネーター・暮らしづくりネットワーク北芝職員の丸岡朋樹さんにより、昨年の真備町水害の発生以来、ボランティアに継続的に参加している岡山市に住む小藪優太さん(中学2年生)と、この1月に箕面ユネスコ協会とともに真備に入った箕面市立第二中学校生徒会6名のメンバーが、「いま私たちにできること」をテーマに、活動報告とパネルディスカッションを行いました。

まず、被災地で初めて取り組んだボランティアについて、箕面市立第二中学校生徒会6名のメンバーより報告がありました。取り壊さなければいけない家の植栽の伐採や泥水に浸かった写真洗浄など、ボランティア活動を通じて感じたことや、被災された方々への思いの発表がありました。

次に、小藪優太さんは、お母さんに勧められ参加した初めてのボランティアで、箕面ユネスコ協会の辻田さんと出会い、一緒に行った床板を剥がす作業などを通し、多くのことを教えてもらい、ボランティアが楽しくなりました。辻田さんを「師匠」と呼び、「最初は被災した方への応援と思っていたのが、続けるうちに、自分自身の成長が感じられるようになった」など感じたことを語ってくれました。

お母さんも、「優太が参加するたびに元気になっていった…箕面で報告させてもらえる場を設けていただいてありがとうございました…」など嬉しい感想を話してくださいました。

会場の参加者から、「中学生の素直な気持ちが伝わり、優太さんについては初めて会った時の印象とは全く違う成長ぶりに感動しました」「2中生がこれからも他の生徒にも呼び掛けてボランティアに参加したいと話したことなど力強く感じました」などの感想を聞くことができました。温かい雰囲気のパネルディスカッションになりました。ありがとうございました。



●箕面市立萱野小学校 4年生 人権総合学習●

自分たちができることって何だろう？～出会いの中で見つけたハテナを解決しよう！～

萱野小学校では、「つながり」の中で学び合い、一人ひとりの進路を切り拓き、よりよい社会の実現に向けて具体的に行動する力を高める『人権総合学習』の取り組みを、各学年のもちあじに応じた豊かな内容で進めておられます。4年生でも、いろいろな立場で仕事をしている方、障がいのある方、外国にルーツのある方などたくさんの方々との出会いを重ねてくれました。

1月には、箕面ユネスコ協会として種々のボランティア活動に頑張る坂口会長が招かれました。



東日本大震災で、家族を探しながら2か月以上避難所でボランティア活動をした経験、それ以降、熊本、真備、房総…とボランティアを続けていることなど、スライドを見てもらいながら伝えました。話を集中して聞いてくれた子どもたち。投げかけた問いにもしっかりと応えてくれました。

- 人に喜んでもらうと自分の心が温くなる！楽しくなる
- やりたくないことも、むずかしいことも、やり抜くととても気持ちがいい！

ボランティアコーディネーターを続ける坂口会長の思いを、子どもたちと一緒に受け止めることができた時間になりました。

後日、ハッピーハウス（公益財団法人日本アニマルトラスト）と出会う子どもたちの様子を参観させて頂きました。数年前に豊川南小学校や中小学校で、東日本大震災で被災した200頭以上の犬たちを保護した経験を話していただいたことがあります。組織もより大きく確かになり「生きとし生けるものの全てのいのちを守る」ために精力的な活動を続けておられるハッピーハウスさん。2頭のやさしい保護犬とたっぷり触れ合った子どもたちは、笑顔がいっぱいでした。



2月7日には、萱野小学校公開研究会を参観させて頂きました。「自分も何かの役に立ちたい！」「つながったみなさんも笑顔がいっぱいになる活動がしたい！」と行動を始めた子どもたち。ワークスペースには、手作りのBOXやポスターがたくさん並べてありました。公開授業では、これまでの方法を見直し、自分たちの思いがより多くの方に伝わる工夫について、クラスみんなで交流する活動を見せていただきました。多くの参観者に見守られる中、笑顔を交わしながら学習に取り組んでいる様子が印象的でした。

たくさんの姿を見せて下さってありがとうございました。総まとめの日々を大いに楽しんでください。

（大濱 淳子）



●ワン・ワールド・フェスティバル2020 世界平和・SDGs活動に取り組む高校生たちのメッセージ

2月1日2日、大阪市扇町北区民センターで、第27回のフェスティバルが開催されました。関西国際交流団体協議会が事務局を担う大きな会です。わたしたち大阪府ユネスコ連絡協議会は二日目の分科会を担いました。第1部は高校生の報告発表です。外務省・日本国際連合協会主催/国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール優秀発表者の3名や、韓国のアジア青少年国際交流に参加した3名、日本ユネスコ協会連盟主催カンボジアスタディーツアーに参加した2名、そして、東日本大震災の被災地支援やボランティア活動体験報告の2名と、次々に素晴らしい内容と表現の発表が行われました。

第2部は、発表を受けてのワークショップです。進行も高校生のお二人が務めて下さいました。SDGsにつながるサイコロトークでリラックスしたあと、「SDGs達成に向けて今の自分ができそうなこと」をできるだけたくさん見つけていきます。各グループでは、高校生のみなさんが思いのあふれるおとなたちの意見を笑顔で受け止めながら場をつくり、まとめの発表まで盛り上げ続けて下さいました。

持続可能な世界づくりを担っていく若者の力に圧倒された楽しい時間でした。 (大濱 淳子)



●災害支援 岡山県倉敷市真備町でのボランティアに参加して

箕面市立第二中学校の生徒会メンバーと共に！

熊本地震以降、箕面ユネスコ協会は暮らしづくりネットワーク北芝と被災地支援活動を展開しています。その一環で、1月12日に箕面市立第二中学校の生徒会メンバー中学2年生6人と、岡山県真備町にボランティアとして入りました。

私も3月恒例の東日本大震災復興支援イベントの担当者として、取材を兼ねてボランティア参加をさせて頂きました。



地元岡山の中学2年生の小藪ゆうたくんも加わった若いボランティア集団との関わり方は、保護者とは違う対等な立場の感覚があり、とても新鮮でした。特にゆうたくんは辻田パパを師匠と呼び、深い信頼の絆で結ばれていて、ボランティアの醍醐味を感じます。



午前中は、取り壊しを予定している家屋の庭木の処分や物置の移動をし、午後からは写真の洗浄作業をしました。どちらの作業も、大切な物をなくした人たちがいることを強く感じます。ボランティア活動が少しでも立ち直る手助けになればと心から思

います。まだまだ全国に残る災害の爪痕は多く、出来る範囲で気軽に参加する人が増えることを切に願いながら帰途に着いた1日でした。

(須貝 昭子)

2020年2月8日(土曜日)「3.11を忘れない」【講演会】【食を楽しむ会】らいとぴあ21

■ 第2部 食を楽しむ会

今年も被災地の気仙沼からいただいた「大漁旗」のもと、気仙沼の食材とお酒を楽しむ会を開催いたしました。宮城県閑上地方発祥の「はらこ飯」「三陸の海の幸」、気仙沼大島からの牡蠣とホタテ、地酒は気仙沼の男山酒造「蒼天伝」角星の「別格」等！たくさんの食材が並びました。さらに真備町からも桃太郎豆腐が届きました。例年の参加者に加え、帝釈寺からも参加してくださいました。なかでも嬉しかったのは、赤ちゃんを連れた家族参加が増えてきたことです。各テーブルとても盛り上がり、被災地への思いや、最近の支援活動の状況など、話が尽きることはなく、時間がいくらあっても足りない様子でした。参加者からは「楽しい会をありがとう」「いつも様々なつながり、感動、そして楽しく美味しい会ができること、こちらこそ感謝です。」などの言葉をいただきました。スタッフの皆様もお疲れ様でした。



お知らせ

●東日本大震災復興支援イベント「3.11を忘れない」

2020年3月8日(日) 11時～15時 箕面市民活動センター かやのさんべい橋

アサンフション国際中学校高等学校聖歌隊、小学校コーラスクラブによるチャリティーコンサート
箕面ユネスコ協会ではチャリティー物産展を行います。是非来てください！

●長野へのボランティアツアー実施します

2020年3月27日～29日に実施予定。

詳細は、箕面ユネスコ協会ホームページでご確認ください。